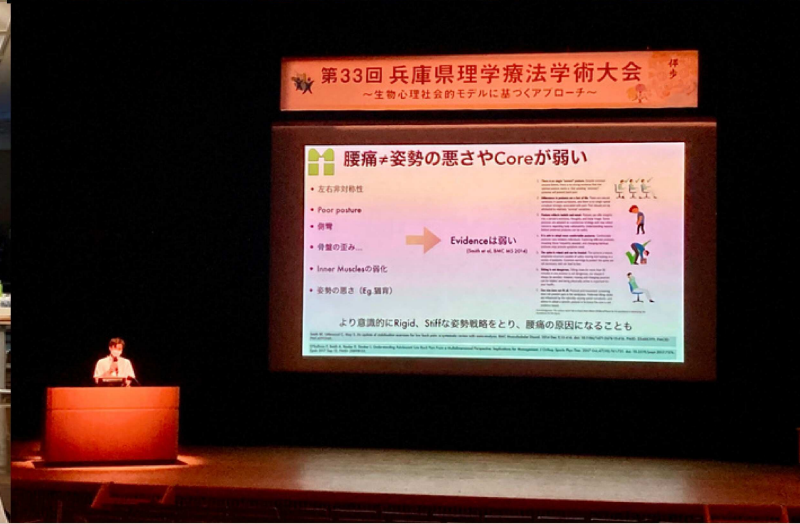
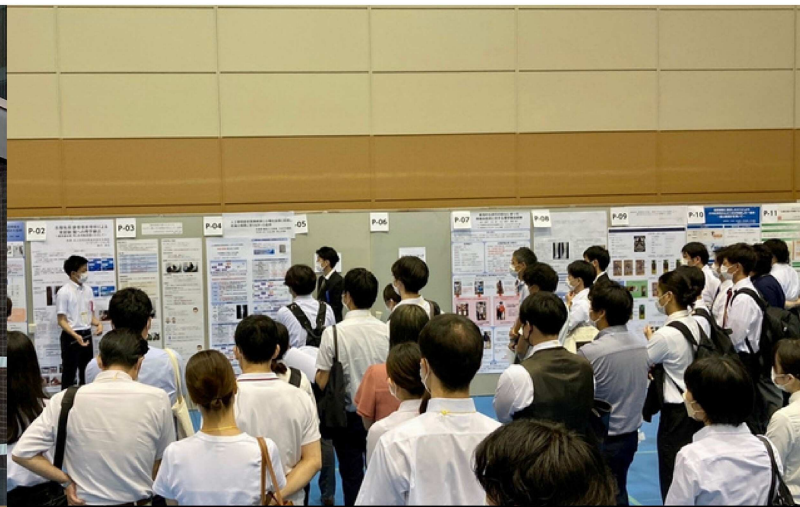




# 士会だより



## 特集：第33回兵庫県理学療法学会学術大会

巻頭言

p. 2

新入会説明・研修会

p. 3

兵庫県学術大会

p. 4-7

PTになって思うこと

p. 8-10

各部だより

p. 11

INFORMATION

p. 12-14

会長行動録

p. 15

数珠繋ぎ

p. 16



## 巻頭言



### 地域包括ケアシステムと兵庫県理学療法士

一般社団法人兵庫県理学療法士会  
常務理事 小森 昌彦

地域包括ケアシステムは、今まで経験したことのない「人口減少、少子・超高齢社会」を乗り切るために提案されている新しい仕組みです。

厚生労働省は「重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう「住まい」「医療」「介護」「予防」「生活支援」の5つのサービスを一体的に提供できるケア体制」が地域包括ケアであり「中学校区単位のエリア」で作られるシステムと説明しています。

理学療法士として「地域包括ケアシステム構築」にどのように関わればいいのか問われることがよくあるのですが、まずは、あなたが住んでいる（働いている）地域にある社会資源を知ることと、住民とできるだけ多く関わる機会を持って、住民の価値観に触れることが「はじめの1歩」になると思います。

ただ、理学療法士としての業務中心の生活では、なかなか地域の現状を知る機会や一般住民との関わりは少ないと思います。そこで、職場以外に活動の幅を広げる事をお勧めします。

私の場合、小学校のPTAの役員を経験することで、地域の様子が分かるようになったし、地域住民の人たちの価値観に触れ、医療・介護従事者との価値観の違いや地域住民が望んでいる生活、偏見・誤解が通説として流布している現状も見えてきました。また、ボランティアや一般住民が地域のために貢献しようとする姿に感心することもあり、地域包括ケアシステムを支える「地域住民」のリアルな姿を見ることができました。

それは明らかに今までの自分の価値観を変えるきっかけとなり、理学療法士として的人格を形成する糧になるだけでなく、我が町の「地域包括ケアシステム」のあり方を考える際のヒントを得ることもできました。

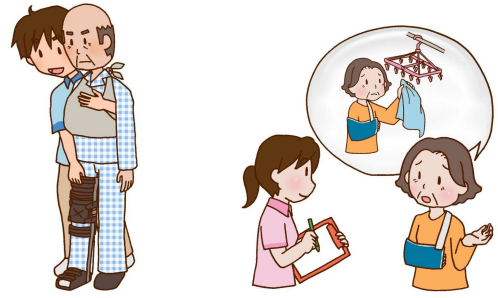
「いきなり地域活動はハードルが高い」と思う人は、県士会の活動をきっかけにしてみてもどうでしょうか。支部活動や各部活動への参加、推進リーダーとして介護予防や地域ケア会議に参加するなど、県士会活動には地域住民だけでなく他職種と繋がるきっかけが沢山あります。

兵庫県理学療法士会定款の「目的」には、「理学療法士の学術及び技能の向上並びに人格及び倫理の高揚を図り、もって県民の保健、医療及び福祉の向上に寄与することを目的とする。」という一文があります。

県士会員であれば、県士会活動に積極的に参加し「理学療法士の学術及び技能の向上」のみならず、「人格及び倫理の高揚を図り、県民の保健、医療及び福祉の向上に寄与」できる「守備範囲の広い」理学療法士を目指してみてもどうでしょうか。その方が、今後の理学療法士人生を有意義に送れるはずですよ。



# 新人および新入会者説明会・研修会



新人および新入会者説明会・研修会が7月2日に対面にて開催されました。オンライン開催が主流の中、215名も参加頂き、対応して頂いたスタッフの方々含め有難うございました。

本研修会では「どうやって診る？脳卒中」、「兵庫県理学療法士会、日本理学療法士協会の概要と入会方法について」、「価値ある未来へ！理学療法士の声を国会に」、「生涯学習管理～登録理学療法士について～」の4講演が行われました。オンラインとは違い参加された先生との距離感が近く、対面でしか味わえない緊張感がありました。

講演の中で、特に印象的であったのは、「日々臨床で患者に提供する上で我々の職種にゴールはない」と檀辻理事が述べられたことです。なぜ生涯学習管理が変更されたのか、我々が臨床に従事し目の前の患者様に良い理学療法を提供する上で日々学ぶことを忘れてはいけないことを改めて感じさせて頂きました。

本研修会が参加された方にとって学びある一日となっていれば幸いです。

前川 侑宏(神戸市立医療センター中央市民病院)

より実践的な  
多職種連携(FW)が学べる  
新たな兵庫医科大学へ。

強い医療人  
なりたいか。

2022年4月開設  
薬学部 | 看護学部 | リハビリテーション学部  
医学部を擁する西日本最大級の医系総合大学に。

兵庫医科大学

医療・福祉の仕事を通じて誰かの力になりたい。

その夢を叶える学校です。

神戸医療福祉専門学校中央校  
【介護福祉士科】 鍼灸科 【精神保健福祉士科】  
〒650-0015 神戸市中央区東川崎町2丁目6番3号  
URL: https://www.knmw.ac.jp

神戸医療福祉専門学校三田校  
【理学療法士科】 作業療法士科 【言語聴覚士科】  
【社会福祉士科】 臨床検査士科 【放射線科】  
【保健師科】 【歯科材料科】 【製菓科】(1年制)  
〒650-1113 三田市権田551-85  
URL: https://www.knmw.ac.jp

姫路医療専門学校  
【作業療法士科】 【言語聴覚士科】 【臨床工学技士科】  
【言語聴覚士科】  
〒670-0927 姫路市野原町27番2  
URL: https://www.knmw.ac.jp

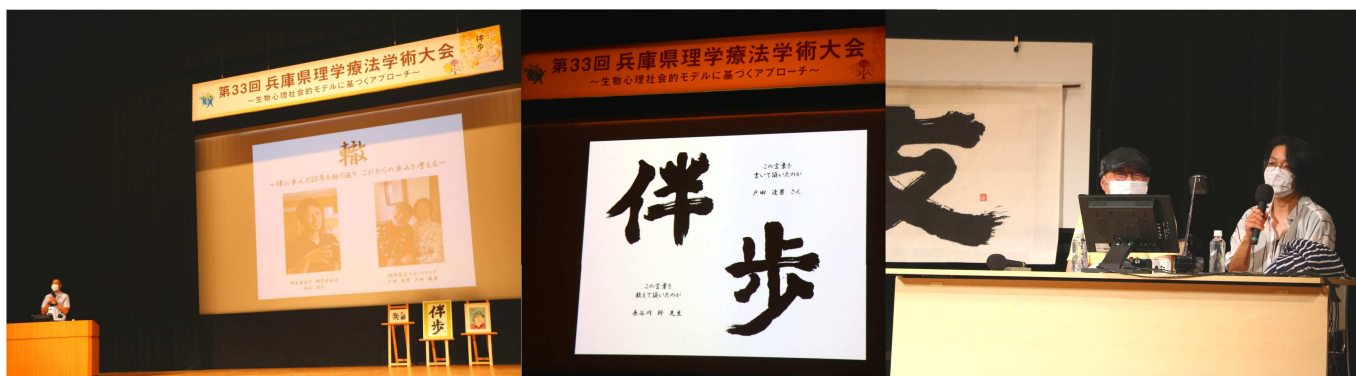


# 第33回兵庫県理学療法学会が開催されました



2022年8月21日(日)、「伴歩 ～生物心理社会的モデルに基づくアプローチ～」というテーマで、洲本市文化体育館にて開催されました。地域医療・地域福祉が進む社会の中、対象者が「住み慣れた地域」で「自分らしい暮らし」を続けていくために、私たち理学療法士に求められていることとはなにか。誰もが一度は考えたことがあるこの疑問に対して、向き合っていく学会となりました。その中でも、私たちがリハビリテーションを提供していくにあたり、対象者の主体性を引き出すためにはどのような関わり(アプローチ)が必要か、多数のコンテンツを用いて研鑽できる場となりました。

## 【大会長基調講演】



## 轍 ～伴に歩んだ20年を振り返り、これからの歩みを考える～

大会長の畑山 浩志先生、NPO法人淡路自立サポートクラブの戸田夫妻(達男さん、福美さん)の3名にご講演いただきました。夫婦を取り巻く環境は、達男さんが46歳の若さで脳出血に倒れたことで大きく変わりました。二人は障がい者の実情や失語症について「正しく伝えたい」という気持ちが募り、2004年にNPO法人を設立しました。たとえ動けなくても発信ができる環境づくりを行い、障がい者対応トイレマップやホームページの作成をするなど、様々な活動に尽力されてきました。二人とも年をとってきたから、今後はインスタグラムにも挑戦していきたいとご夫婦で話されていたときの笑顔が大変印象的でした。また、「やれることを探すのではなく、やりたいことをやる」という夫妻の言葉も印象的でした。

基調講演のメッセージは、私たちは対象者に対して「理学療法士のやりたいこと」を押し付けていないでしょうか、ということ。「理学療法士は提案家であり伴歩者である」。対象者のやりたいこと、その家族の求めること、私たち理学療法士ができること、これらが重なる部分をどのようにやってみようというきっかけをつくってあげられるかが、本来のリハビリのかたちではないか。分かっているつもりでも実際の臨床場面ではまだまだ実践できていない現状があるように感じました。



## 【特別講演】

### 伴歩～主体性を自ら引き出すアプローチ～

世田谷公園前クリニックの長谷川 幹先生より、たくさんの事例紹介を交えてご講演頂きました。現状、背景は異なるが急性期・回復期・生活期いずれの病期をみても、医療者が主導となっており、「患者はしてもらう、医療者はしてあげる」の一方向性の関係にほとんどなってしまっているとのことでした。このままの関係では、医療者依存が強くなり、何もできないという心境に陥りやすく、このような状況を転換していくためには、対象者自身が自己決定をすることを練習することが重要であるとのことでした。セラピストは選択するのではなく提案・助言を行い、これを基に対象者には自身で考え選択をし、自ら質問をするよう行動変容させていくことが重要です。しかし、障がい受容までに時間がかかる場合があるため、忍耐が重要であり、あくまでも本人の自己決定を尊重することが「主体性を自ら引き出す」ことにつながります。障がいのある方は「弱者」ではなく「弱点(秘めた力)」があり、「維持・向上」ではなく「向上」を考え、主体性を引き出すために支援者から伴歩者となることで、対象者自身が本当の意味で住み慣れた地域で自分らしく生きることに至ることができるのだと感じました。



## 【シンポジウム】

シンポジウムでは今回の学会のテーマでもある「生物心理社会モデル」という視点で、心疾患、呼吸疾患、精神疾患、障がい者スポーツ、地域リハビリテーションというそれぞれ違った立場や分野でご講演頂きました。実際の事例を通して精神的・社会的な面での捉え方といったことから、「文化」という側面、理学療法士として社会的な部分にどのようにアプローチしていくかという内容など、一つのテーマでもそれぞれ違った見方のため、それぞれの講演で自身の臨床を振り返る機会となりました。講演後のディスカッションではご講演頂いた先生方も“今回の生物心理社会モデルをどう捉えるか”という点では、とても難しかったとコメントされていました。生物、心理、社会的にとらえるということは臨床をする上では当たり前であり、重要なことではありますが、改めて考え直す機会になった先生も多いのではないのでしょうか。

## 【特別企画】

今学会では初めての企画として兵庫県理学療法士会で日々ご活躍されている、保健福祉部、スポーツ活動支援部、健康増進部、生涯学習部の先生方にご講演頂きました。普段、部として実施されている活動の報告や、提供されているコンテンツの紹介をして頂き、実際にどういった活動をされているのか、各部をあまり知らなかった先生方も具体的にイメージしやすかったのではないのでしょうか。また、今回の講演の中には東京パラリンピック大会のサポート報告もあり、兵庫県理学療法士会の代表として輝かしい場で活躍されていることに非常に感銘を受けました。今回の特別企画を通して、各活動に興味を持たれた先生も多いと思います。

今後も兵庫県理学療法士会の活動に是非ご協力ください。





## 【教育講演】

### I. 生物心理社会モデルに基づいた腰痛の理学療法戦略

札幌円山整形外科病院の三木 貴弘先生に腰痛についてご講演いただきました。日本では病理学的観点からのPathoanatomic Based Classificationがよく用いられ、生物医学的な治療が実施されていることが多いですが、大部分を占める神経症状等がない非特異的腰痛は、生物心理社会モデルと呼ばれる組織の損傷のみならず心理的因子や社会的因子も考慮に入れた多面的な評価や介入が必須です。治療体系の一つであるCognitive Functional Therapy (CFT)は認知的側面、機能的側面、生活習慣的側面から構成されており詳細に説明していただき慢性腰痛に対してのアプローチを学ぶことができました。

### II. 理学療法と健康生成論～メンタルヘルスとフィジカルヘルス～

東京国際大学医療健康学部の山本 大誠先生にご講演いただきました。関節可動性や筋力などの身体機能が十分整っていても「機能的動きの低下」がある場合、精神的要因も関わっていることを捉え、普段筋骨格等外側からアプローチしている理学療法とともにBasic Body Awareness Therapy (BBAT)を行い自己意識の改善に対してもアプローチする多面性を学ぶことができました。また、座り方や頸の回し方を自己の身体の気づきに基づきながら実施する実技体験もあり、まずは自身が知覚できる身体になることが重要であることを再認識しました。

### III. ライフステージを踏まえたウィメンズヘルス理学療法

兵庫医科大学リハビリテーション学部の森 明子先生にご講演いただきました。ウィメンズヘルスとして産前産後の理学療法だけではなく、骨盤底機能障害、骨粗鬆症、スポーツを実施する女性に対するマネージメントなど理学療法士の期待される対応範囲が拡大されています。疾病に関することだけではなく、身体的側面、心理社会的側面の両面から各ライフステージにおける様々な変化を基礎知識として幅広く知ることができました。

## 【口述発表、ポスター発表】



口述発表ではセレクション演題、研究助成演題、フリー実践報告演題、神経理学療法、運動器理学療法、内部理学療法、新人発表推薦演題のI～VIセッションで開催されました。どのセッションも多く先生方が参加されており、会場は常に満席状態でした。演題に関しては昨年に引き続き今年もCOVID-19や呼吸器疾患に関する演題で大変貴重な研究結果も示されていました。また、更に今回の学会では教育面やスポーツ障害、病院の運営やシステムに関する発表なども数多くみられ、大変多岐にわたった分野での発表を聞くことができました。ポスター発表に関してもI～IXセッションと非常に多くの演題数であり、特に運動器理学療法のセッションでは聴講されている先生も多く、質問等も飛び交い、熱気に溢れていました。



## 【大会長コメント】

第33回兵庫県理学療法学術大会を終えて

こんにちは、この度の第33回兵庫県理学療法学術大会の大会長を務めさせて頂きました淡路支部長の畑山(洲本市役所)と申します。突然の雷雨の中、幕上げしました学術大会も無事に開催し終えることができました。それも、1年前から一緒に準備してきた準備委員の仲間、様々な意見交換をした淡路支部運営委員の仲間、学術大会の運営をして頂いた大会運営委員の仲間、発表・講演、機器展示・広告して頂いた仲間、そして大会当日に参加して頂いた兵庫県理学療法士会の仲間、すべての皆さまに感謝申し上げます「ありがとうございました」。わたくしの「やりたい」ことがまた一つ叶うことができました。これからも皆さんと伴歩していきます。

大会長 畑山 浩志(洲本市役所)



### 広報部取材班

筒井 章悟(兵庫しあわせ訪問看護ステーション)

濱田 大介(東灘しあわせ訪問看護ステーションくるる)

前川 健一郎(神戸リハビリテーション病院)

リハビリ訪問看護ステーション 運営部 | アスリートサポート部 | ソーシャルメディア広報部

# Steps

想いをカタチに

予防医療部 | ウィメンズヘルス部 | ICTサポート部

兵庫事務所 TEL 078-599-7990 FAX 078-330-3754  
〒652-0033 神戸市兵庫区西上橋通 1-1-23 ヴィラ神戸 II 101

神戸西事務所 〒655-0013 神戸市垂水区福田 2-4-4 サン・リベラル 203

医療で社会をつなぐ  
「医療社会人」を目指す

学校法人 平成医療学園  
**宝塚医療大学**  
TUMH TAKARAZUKA UNIVERSITY of MEDICAL and HEALTH CARE

0120-00-1239  
〒666-0162 兵庫県宝塚市花屋敷緑ガ丘 1

保健医療学部  
理学療法学科 ■ 柔道整復学科 ■ 鍼灸学科

宝塚医療大 検索  
http://www.tumh.ac.jp/

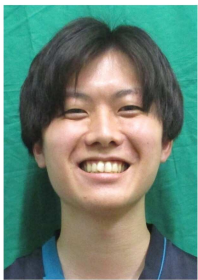


# PTSからPTになって思うこと



阪神南(尼崎)支部  
はくほう会セントラル病院  
谷垣 歩

私は、理学療法士となり、「疾患をみる」から「患者様をみる」への意識変容を心掛けています。学生の頃は、疾患を前提に機能評価を行い、正常に近づけることで患者様をより良くするという思考になることが多々ありました。しかし、生活期リハに携わる現在では、幅広く患者様を捉えることの必要性を学びました。家屋や自宅周辺などの生活環境、ADL・IADL、他サービスの利用状況なども踏まえたうえで機能評価や方針検討を行い、個々に応じた生活再建を支援できるように努めています。また、ご家族様や他職種と関わることで、専門職としての責任感をより強く感じています。学生の頃は、主に理学療法士としての患者様との関わりを学んできましたが、現在はリハビリ職・医療人としてより幅広い視点や知識が必要であると感じています。患者様と1対1の関係性ではなく、患者様を共に支援する全ての方を対象に、自身の役割を果たせるように頑張ります。



神戸西支部  
兵庫県立リハビリテーション中央病院  
秋山 太志

PTSからPTになって思うことは、リハビリを行う上での患者さんに対しての責任が明らかに違うことです。PTSの時はスーパーバイザーの指導のもと、評価や治療に専念し、リハビリを行わせていただいていた。しかし、PTとして担当を受け持つと、どのような治療を行ったかだけでなく、患者さんのHopeを叶えることができるかが重要になるということを感じました。また、PTでは必ず結果が求められます。そのため、PTとして治療技術の向上に努めることは勿論ですが、患者さんに満足して頂けるリハビリを提供するためには、リハビリを積極的に行っていただけるような関わり方や、PT目線での問題点だけでなく患者さんのHopeに寄り添えるかが重要であると思います。疾患は同じでもHopeは患者さんそれぞれ異なるため、疾患だけを見るのではなく住環境や家族環境、社会保障などの背景にも目を向け、患者さんと真正面から向き合ってリハビリができるよう、日々努力を積み重ねていきたいと思っています。



阪神北支部  
さんざりリハビリテーション病院  
石峯 佑一

私は3年間養成校に通い、今年の春からPTとして働いています。4ヵ月ほど経ちましたが、まだまだ仕事に慣れておらず戸惑うことが多々あります。学生時代に学んできた知識や技術を活かし、時に先輩方から指導をいただき補っていく毎日です。学校や臨床実習で学んだことは基礎的なものだと思いますが、その基礎的なことが実際の患者様を前にして治療を展開するうえで欠かせないものだと思再認識しました。

学生の頃はテストで良い点数を取るため、試験に合格したいといった思いから勉強をしていたため机に向かうことが億劫になることがありました。現在は自分の担当である患者様に対してより良い治療を提供したいという思いを原動力に日々勉学にも励んでいます。より専門的なことを調べ、学ぶため大変ではありますが学生時代とは異なる充実感があります。

まだ新人のPTですが、これからも学生時代に学んだことも大事にしつつ、より高度な知識や技術を身につけることができるように励んでいきたいと考えています。



阪神南(西宮・芦屋)支部  
リハビリモンスター芦屋  
稲垣 海人

私は学生時代、あやふやな気持ちで勉学に挑み3年最後の実習は、2回ともコロナ禍の影響で学内実習となりあまり臨床現場の雰囲気や評価に関しても漠然としていました。

理学療法士になり、変化した点は責任感と自信です。実際利用者さんの問題点に対して運動提供をしても自信がなければ提供できず、ただやるだけで責任感もないまま時間を費やしてしまいます。利用者さんに運動提供をする上で課題・環境・機能と3つのポイントの大事さを日々感じています。私は1年目からデイサービスに就職し利用者さんの自宅での生活や周りの環境、困っていること、やりたいことに視点を置き1つでも多く解決し1人でも多くの利用者さんを笑顔にでき、周りから信頼してもらえる理学療法士になりたいです。

そのために、介護保険を含めた日々の勉強をし、わからないことは先輩に聞くなどして私が今持っている知識を更に深掘りすることで自信に繋がります。結果、利用者さんから「今日も来てよかった・身体が良くなった」と言ってもらえるように日々精進していきます。





西播磨支部  
信原病院  
谷口 新

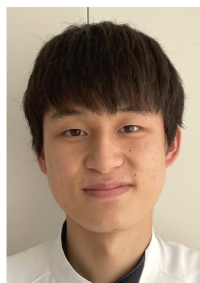
私がPTとなって感じていることは、責任感の違いです。PTSの頃は指導をいただきながらスーパーバイザーと並行で担当患者様に治療を行っており独り立ちとは言い難い状況で責任感もなく漠然と治療を行っていました。

実際にPTとなって患者様に治療を施すことになると、患者様にとってのPTは私一人であり、大きな責任が伴います。さらにベテランの先生と新人の私が治療を行っても患者様が支払う対価は同じですので、新人であっても同等の治療を提供する義務があります。PTとして実際に臨床に出て患者様に対面した際、どう説明や治療を行ってよいのか分からなくなることもありました。そのため、臨床で分からない部分は積極的に先輩方に相談し、担当する患者様の情報はできる限り事前に把握して理学療法プログラムの引き出しをいくつか用意するようにしています。そして患者様を不安にさせないように堂々とコミュニケーションを取るように心がけるようにしています。そういったことの繰り返しの結果に繋がると信じ日々臨床に臨んでいます。



中播磨支部  
入江病院  
岡崎 真由

学生の頃は、実際の臨床が想像できず、定期試験や国家試験を目標として勉強を行うことがほとんどで、知識を自分のものにするに必死でした。しかし、理学療法士となり、目的が「患者様を治療する」に変わったことにより、知識と臨床が繋がる場面を経験できることが増え、一日一日が充実していると感じています。理学療法士として、実施する治療内容に十分なエビデンスと責任が求められることに対し、気が引き締まる思いであり、学生の頃にはなかったのだと実感しています。また、学生の頃と一変して、幅広い年齢層の方々と関わらせていただいているため、一人の人間として成長させていただく機会も多いです。今目標としているのは、疾患に対してではなく、患者様に対し理学療法を行うこと。疾患に対しては、教科書や文献などを探せば出てくるものが多いのに対し、患者様の希望に沿いながら治療することは、臨床での経験が必要だと思っています。先輩方に助言をいただきながら、常に治療技術の向上を目指し研鑽し、患者様を心身ともに支えることが出来るPTになれるよう日々精進していきたいと考えています。



東播磨支部  
明日ハビリテーション病院  
小林 篤季

私が学生から新社会人になり、最も変化を感じた点は結果を出すことへの責任です。今までの学生生活やアルバイトでは、目標とする結果や数字に対し、とりわけ意識すること無く、周囲に言われたことをいつも通り行うだけで十分だと考えていました。

しかし、今年から臨床で働き始め、実際の患者様と関わる中で、自分はその人の人生に関わる仕事をしているのだと感じました。そして、具体的なリハビリ目標を共有することで、それを達成するには、どうすれば良いかを自分で考える場面に、何度も遭遇することになりました。

まだ一人では十分な結果を出すことはできませんが、周囲の先輩方や、他職種の方と相談し、少しでも患者様が良くなる為によりよい手段を模索しなければならないと感じました。またそれが新社会人である私が患者様を担当させてもらう上での責任だと考えています。



但馬支部  
但馬長寿の郷  
播磨 由衣

私は、今年の4月から理学療法士となり、兵庫県但馬長寿の郷に配属されました。但馬長寿の郷では、入院患者や要介護認定者に対する個別リハビリテーションを提供するのではなく、但馬3市2町が実施する住民運営の通いの場などの「介護予防事業」が円滑に企画・運営されるよう支援しています。また、ケアマネジャーと在宅を訪問し、要支援・要介護認定者が、その有する能力を発揮し、自立した生活を営むことができるよう提案・助言を行うなどの業務に携わっています。

対象者にとって非日常的な「病院」と異なり、「在宅」は日常である生活の場そのものです。生活の質を向上させるために専門職としてどのような提案や助言をすべきか、現場で試行錯誤する日々です。私自身、1年目から地域ケアに関わることに難しさを痛感していますが、今後の長い理学療法士人生において必ず生きる貴重な経験であると思っています。

今後、幅広い知識や技術を身に付け、地域の人からも専門職からも必要とされる理学療法士を目指して頑張っていきたいと考えています。





北播磨・丹波支部  
ささやま医療センター  
**足立 海斗**

まず最も強く思うことは責任感の違いです。PTSではスーパーバイザーが必ず傍で見守って下さり、リスク管理も同時に行ってくださるため多少の失敗をしても助けてもらうことが出来ます。しかしPTになると起居から全て一人で行わないといけません。もちろんその際のリスク管理もすべて一人で行うため自分の失敗は全て自分の責任になります。介助量が多い患者様はまだ一人でリハビリテーションを行うことが出来ないため先輩方に助けて頂きますが、介助量が少ない方は一人で行っています。そのため、責任が全て自身にあるということになり、普段のリハビリテーションも一層気を引き締めて行っています。次に思うことは、考える内容の違いです。PTSでは疾患そのものを理解することに必死でしたが、PTになると疾患の理解はもちろん、患者様自身の環境、状態等多くの事を考えなければなりません。そのため最終目標をどのレベルに設定するか、現時点で必要な動作はどのレベルか等多くの事を日々のリハビリで考えながら行っています。以上の二点が、私がPTSからPTになって思ったことです。



淡路支部  
兵庫県立淡路医療センター  
**鍋倉 瑞季**

私は令和4年度に兵庫県立淡路医療センターに入職しました。学生時代は新型コロナウイルスの影響で実習が中止となり、維持期の実習経験しかありませんでした。そのため、初めて急性期医療の現場を目の当たりにした際は、自分自身も同じように理学療法を提供できるようになるのか不安な気持ちを抱きました。そこで私は、担当患者様に理学療法を提供する際に生じた疑問点や、判断がつかない問題については、すぐに先生方に確認するようにしました。そうすることで、どのように対応すれば安全に理学療法を提供できるのか、理解することができました。また、多職種との情報共有もリスク管理を行っていく上で重要なことであると認識することもできました。現在でも、介入時に悩むことは多々ありますが、これからも先生方や多職種との情報共有を徹底し、安全で充実した理学療法の提供を行っていきます。また、その経験をこれから関わっていく患者様に活かせるように知識をしっかり身に付けていきます。



神戸東支部  
神戸平成病院  
**持田 航大**

私が学生から理学療法士になって思うことは2つあります。1つ目は価値を提供して対価を頂く立場になったということです。当院リハビリテーション部は『誰もが誰にでも良質なリハビリテーションを提供し、神戸から日本を変える』をミッションとして掲げています。その中で1年目の私が先輩方と同じように、また異なった点で価値として提供できることは何かを考え行動してきました。初任給を頂いた際に自分の行動にお金が発生していることを肌で感じ、より一層、責任感や使命感を覚えました。これからも患者様や職員の皆様、当グループのために日々自己研鑽していきたいと思っております。2つ目は、理学療法士という職業は素敵だということです。私は理学療法士とは職業である一方でスキルであると感じています。その人らしさを実現するためには機能訓練だけでなく、もっと親身になって多角的な視点を持ちアプローチしていくことが大切だと感じています。入職してからの短い期間で様々な先輩方の姿や患者様から感謝の言葉を頂き、人として誰かの大切に寄り添う理学療法士は素敵だと改めて感じました。最後になりますが、理学療法士になって感じたことも学生の時に感じたことも、「私」をつくる素晴らしいものであると思っております。日々様々なこと関心を持ち、人としてセラピストとして患者様と向き合っていきたいと思っております。



10学部7研究科、総合大学で豊かな人間性を育む  
**総合リハビリテーション学部**

- 理学療法学科**
  - 理学療法士国家試験受験資格
  - 健康運動実践指導者認定試験受験資格\*
  - \*指定科目の単位修得者が取得できる資格
- 作業療法学科**
  - 作業療法士国家試験受験資格
- 総合リハビリテーション学研究所**
  - 大学院 修士課程・博士後期課程

神戸学院大学 〒651-2180 神戸市西区伊川谷町有瀬518 有瀬キャンパス TEL(078)974-1551(代表)

～精鋭の教員陣による人間教育～  
**リハビリテーション学部**  
**理学療法学科**

神戸国際大学 〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中9丁目1番6 TEL: 078-845-3111(代表) FAX: 078-845-3200



# 各部だより

## 研修部

### 研修会報告

#### 3年ぶりの実技講習会開催！！

7月10日に約3年ぶりとなる実技講習会を開催しました。講師はびわこリハビリテーション専門職大学教授の千住 秀明先生をお招きし『呼吸リハビリテーションの評価と基本手技』をテーマに実施しました。これまでの圧倒的なご経験と技術や今後の呼吸リハビリテーションの展望などをお伝え頂きました。また、感染対策委員会の実技講習会開催指針を遵守しN95マスク、フェイスシールドを着用し安全に実習を行うことができました。対面の実技は私たち理学療法士にとってかけがえのない研修である事を改めて現場で感じる事ができました。今後も実技講習会を予定しておりますので、ぜひご参加ください。

熊谷 陽造(公立神崎総合病院)





# INFORMATION

## 「脳性まひ等肢体不自由児者に係る療法士等研修事業」研修会

令和元年度から兵庫県リハ3士会障害児者支援協議会で主催して開催していた『脳性まひ等肢体不自由児者に係る療法士等研修事業』を、今年度も下記の要領で開催することになりました。なお、今年度より主催者が兵庫県立障害児者リハビリテーションセンターに変更となります。講義内容は在宅での肢体不自由児者に対する関わり方を中心とし、講義の詳細については決まり次第お知らせします。昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮して、オンライン開催となります。今回は座学にて実施しますが、今後、前回の研修会のアンケート結果を反映させて、実技を含む研修会の開催も来年3月頃に計画中です。

### 「脳性まひ等肢体不自由児者に係る療法士等研修事業」(2日間開催)

日時 : 令和4年10月8日(土)・9日(日)

1日目 : 10時00分～17時00分 / 2日目 : 10時00分～15時00分

場所 : オンライン開催(基地局 : 兵庫県立障害児者リハビリテーションセンター)

募集人数 : 40名程度

※定員に達した際、同施設から2名以上応募されている場合は選考させていただく場合があります。

受講対象者 : 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・看護師・保健師

参加費 : 2,000円

応募方法 : メールあるいは別紙FAX用紙(右記QRコードよりダウンロード)でFAXにてお申込ください。

メールでの申し込みの際は、amaraha-pos@omichikai.or.jp宛てに  
件名に「脳性まひ等肢体不自由児者に係る療法士等研修事業」研修会(ZOOM)申込  
本文に①施設名 ②氏名 ③経験年数 ④性別 ⑤職種 ⑥電話番号 ⑦メールアドレス  
⑧資料集送付先住所(自宅あるいは所属先) ⑨送付先が所属先の場合は所属先の電話番号  
上記9項目を本文に記載の上、メールにて応募をお願いします。



問い合わせ先: 兵庫県立障害児者リハビリテーションセンター 事務局

TEL 06-6481-5565

FAX 06-6481-5560

E-mail: amaraha-pos@omichikai.or.jp

病院を母体とする医療の総合教育校

医療系 8 学科

- 診療放射線科
- 臨床工学科
- 視能訓練士科
- 理学療法士科
- 作業療法士科
- 言語聴覚士科
- 歯科衛生士科
- 臨床工学専攻科

Since 1973 医療法人社団 慈恵会  
**KCC 神戸総合医療専門学校**  
〒654-0142 神戸市東灘区友が丘7丁目1番21  
お問い合わせはコチラ TEL 078-795-8000(代表) 078-795-8100(入試・広報係)  
HP: <https://www.kobecc.ac.jp>  
神戸総合医療 検索  
スマートフォンはコチラ

女性だから、できるケアがある。

看護リハビリテーション学部  
理学療法学科

女子大学で、女性のための理学療法を学び、リーダーシップがとれる理学療法士へ。

**K 甲南女子大学**  
KONAN WOMEN'S UNIVERSITY  
〒658-0001 神戸市東灘区森北町 6-2-23

理学療法学科公式サイト  
理学療法学科公式 Instagram



## 「脳性まひ等肢体不自由児者に係る療法士等研修事業」講義内容

### 1 脳性麻痺者の成人期の整形外科的諸問題

成人になるにしたがって生じる運動機能低下、および、股関節脱臼、四肢の変形拘縮、頚椎症性脊髄症、脊柱側弯症などいわゆる二次障害について解説します。これらを知ることは成人の治療に重要なだけでなく、小児に対して将来像を見据えて治療する上でも重要です。

### 2 障害児・者に対する社会福祉制度と支援体制

地域で障害児・者の看護、介護、リハビリテーションに関わるときに知っておくべき福祉制度や支援体制について学ぶ。障害福祉サービスの概要や障害者支援区分などの概略を理解する。

### 3 障害児・者に対する医療・看護ケア

在宅で暮らす医療的ケアが必要な障害児・者と関わるうえでの必要な基本的知識・リスク管理、看護とリハビリの連携について学ぶ。

### 4 理学療法アプローチ

小児期から成人期の脳性麻痺児(者)・重症心身障害児(者)の理学療法について、身体の成長に伴い生じる変化や成人期に起こる問題等も含めて、概論的な内容を講義する。講義には呼吸理学療法に関する内容を含む。姿勢変換等の介助方法・ポジショニング、福祉器具を使用する際に注意する点等について、実際の事例を紹介しながら行う。

### 5 言語聴覚療法アプローチ

重症心身障害児・者におけるコミュニケーションの困難さや要因を学び、現在のコミュニケーションの取り方を把握し尊重すること、年齢にふさわしいかわり方の大切さ、特異な能力(個性)を把握しコミュニケーションに繋げていくなど、コミュニケーションにおける支援の考え方について学ぶ。

重症心身障害児・者における食事の困難さを学び、重症心身障害児・者によくみられる食べ方や飲み方を紹介する。誤嚥のリスクと対処方法など、食事の支援の考え方について学ぶ。

### 6 作業療法アプローチ

脳性麻痺を主とした肢体不自由児者に対する作業療法について基本的な評価・アセスメントと介入・支援について講義する。評価としては上肢・手指機能、視知覚などの機能的評価、ADLや遊び・余暇活動など生活行為等の発達や意義について整理する。また支援としては対象者個別の特性を踏まえた上で、目標とする課題や環境設定等について事例を挙げて考察する。更に、家で手軽に取り組める遊びや姿勢保持に役立つ工夫等の紹介、業者からの姿勢保持用具やICT機器の紹介をVTRでご覧頂きます。







アーカイブサイトでは・・・



子育て中でも、場所や時間を選ばず  
学ぶことができる。



繰り返し見ることができるので、  
学習効果が高い。



質問も会員同士のコミュニケーションも可能。  
学びを共有することができます。

## 利用方法

＼こちらを読み込む／

- ① 右のQRコードを読み込む
- ② HPTAメールの案内のとおり  
ユーザー名/パスワードを入力してログイン





# 会長 行動録

- 6月1日 神戸新聞と面談 政策研修会協力依頼
- 6月4日 代議員総会視聴
- 6月5日 山本、檀辻、伊藤、小山、木澤理事と相談
- 6月11日 近畿ブロック士会長事務局長会議出席
- 6月12日 阪神北、神戸東地区政策研修会参加 テーマ：「制度が変われば輝けるステージが変わる」
- 6月14日 兵庫県理学療法士連盟事務局長、中川理事と相談
- 6月15日 神戸新聞、理学療法士の取材 伊藤理事、堤理事、檀辻理事、山本理事と相談
- 6月16日 斎藤協会長と相談 常務理事・三役会出席
- 6月17日 理事会出席
- 6月20日 伊藤理事と会談 岩田理事と相談
- 6月21日 連盟会長と相談
- 6月23日 東播磨、神戸地区会議出席
- 6月24日 阪神地区会議出席 連盟役員と会談
- 6月28日 西播磨、中播磨会議出席
- 6月29日 小川議員、連盟会長と会談
- 7月1日 補助金獲得に関する会議出席
- 7月2日 新人および新入会者説明会・研修会講演
- 7月3日 令和4年度定時総会、拡大理事会出席
- 7月4日 神戸市健康局地域医療課（須田様、藤野様、伊藤様）と会談
- 7月5日 山本事務局長と相談 西播磨、中播磨会議出席
- 7月10日 神戸市および兵庫県自民党予算要望書作成
- 7月11日 大串衆議員事務所訪問 加田参議員事務所訪問 盛山衆議員事務所訪問 関衆議員事務所訪問
- 7月12日 後援会活動のまとめ
- 7月14日 常務理事・三役会出席
- 7月15日 理事会出席
- 7月18日 小川かつみ後援会結果報告会出席
- 7月22日 伊藤理事、石川連盟会長と相談
- 7月25日 小川かつみ後援会結果報告会出席
- 7月25日 小山理事、山本事務局長と相談
- 7月29日 神戸在宅医療・介護推進財団 理事長細谷先生と会談
- 8月1日 臨床実習指導者講習会運営協議会出席
- 8月6日 岩田理事、檀辻理事と相談
- 8月10日 第3回キュア神戸本会議出席



**リハノメ** PT・OT・STのための  
総合オンラインセミナー

POINT 5

リハノメとは  
「リハノメ」はPT・OT・STのための、  
どこでも学べるオンラインセミナーサービスです。  
臨床に關むPT・OT・STのために、  
各分野の専門家が集まり、臨床経験や研究成果に  
基づいた知識・技術をお届けいたします。

どこでも学べる  
日本最大の講師数  
オンライン 再生31分  
定額見放題  
配信スケジュール 随時公開

1ヶ月見放題プラン  
通常料金 3,080円が初回限定で…

**980円** (税込)

お申込みは  
こちらから  
QRコード

豪華講師陣が  
続々登場!

理学療法士・作業療法士  
石井 慎一郎 先生  
理学療法士・言語聴覚士  
赤羽 根良 先生

法人様向けプランも  
ご利用しております

リハビリテーションを  
「かたち」にする会社 **gene**

お問い合わせは  
こちらまで  
お願いします

seminar@gene-llc.jp  
Tel.052-325-6611

リハノメ 検索

人にやさしい人になる

PHYSICAL THERAPY 理学療法学科  
OCCUPATIONAL THERAPY 作業療法学科  
SPEECH THERAPY 言語聴覚学科

**KRC** 関西総合リハビリテーション専門学校

E-mail krc@junshin.or.jp 〒656-2132 兵庫県淡路市志筑新島7番4  
http://www.krc-net.jp/ TEL.0799-60-3600 FAX.0799-60-3610





兵庫医科大学  
リハビリテーション学部

永井 宏達 氏



### 略歴

#### 【学歴】

- 2005年 京都大学医療技術短期大学部  
理学療法学科 卒業
- 2012年 京都大学大学院医学研究科  
人間健康科学系専攻博士課程 修了  
博士(人間健康科学)

#### 【職歴】

- 2005年 大阪厚生年金病院  
リハビリテーション室入職
- 2012年 京都橘大学健康科学部  
理学療法学科 助教
- 2014年 兵庫医療大学  
リハビリテーション学部 講師
- 2022年 兵庫医科大学  
リハビリテーション学部 准教授(現職)

### 趣味

写真、キャンプ

皆さんこんにちは。私は現在、兵庫医科大学（2022年3月までは兵庫医療大学）で理学療法を学ぶ学生の教育に携わっています。専門領域としては、高齢者のフレイル予防や転倒予防などに興味を持っており、同じ兵庫医科大学の診療科の先生方と協力して、学生達とともにフレイルの早期発見や対策に関する疫学研究を実施しています。自治体の介護予防事業等にも関わらせて頂いており、地域共生社会に向けて住民の健康支援の在り方を日々模索しています。また、住民を対象として介護予防サポーターを養成し、住民が地域の互助を推進する取り組みを支援しています。住民の皆さんの中には、高いモチベーションを持たれている方がたくさんおられ、私自身多くの刺激を頂いています。

介護予防領域の理学療法にはまだまだ多くの課題があります。けれどもその分、やりがいも大きい分野だと思います。理学療法士として、人々の健康支援のために研究したり、活動したり、学生教育をすることが、私の生きがいになっています。

次は、甲南医療センターで心臓リハビリテーションやがんリハビリテーションに従事されている、藤原絢さんにおつなぎします。

### 表紙写真

第33回兵庫県理学療法学会大会が、2022年8月21日に「伴歩 ～生物心理社会的モデルに基づくアプローチ～」というテーマで、コロナ禍後、初の対面での開催となりました。今大会は総勢415名の参加となりました。写真は会場となった洲本市文化体育館の当日の様子です。

県士会だより 第196号  
発行

一般社団法人兵庫県理学療法士会

発行責任者/間 瀬 教 史  
編集者/筒 井 章 悟

ホームページ  
<http://hyogo-pt.or.jp/>



## 一般社団法人 兵庫県理学療法士会

兵庫県理学療法士会事務所 所在地  
〒650-0012 兵庫県神戸市中央区北長狭通5丁目5-22 4階  
TEL 078-367-7311